



世界科学アカデミー会議について
Conference of the World's Scientific Academies
(通称 インターアカデミーパネル 2000 年会議 (IAP2000))

1. 日 時 平成 12 (2000) 年 5 月 15 日 (月) ~ 18 日 (木)
2. 場 所 東京 (東京国際フォーラム)
3. 主 催 インターアカデミーパネル (InterAcademy Panel: IAP)
4. 主催機関 日本学術会議
5. 参加者 世界 82 の科学アカデミー等
国外 190 人・国内 70 人 計 260 人 (予定)
6. 使用言語 英語
7. 会議の内容
 - (1) 21 世紀において人類が実現しなければならない持続的発展への移行に向けて、人口や食糧、水、などに関する問題解決のために科学は何をなすべきか、また、なし得るかを討議、今後人類が進むべき道を提言するため宣言を採択
 - (2) アマルティア・セン教授 (厚生経済学への貢献により 1998 年ノーベル経済学賞受賞) の基調講演など、著名な科学者が多数参加予定
8. 会議の日程 (平成 12 (2000) 年 5 月) (予定)

	午 前	午 後	夜
14 日 (日)	-	登録受付	ソーシャル・ギャザリング
15 日 (月)	セッション 1 (人口 / 健康)	セッション 2 (食糧)	基調講演、開会式、 ウェルカミングレセプション
16 日 (火)	セッション 3 (水)	セッション 4 (エネルギー)	-
17 日 (水)	セッション 5 (消費)	セッション 6 (知識 / 教育)	-
18 日 (木)	セッション 7 (総合)	宣言、閉会式、記者会見	フェアウェルレセプション

注: インターアカデミーパネル (IAP) URL: <http://www.nas.edu/iap>

(1) 概要

ア 1995 年に世界のアカデミーのフォーラムとして設立。82 ヶ国・地域等の科学アカデミー等が加盟。事務局は、全米科学アカデミーに設置

イ 共同委員長

- ・ F. シャーウッド・ローランド教授 (全米科学アカデミー国際部長。オゾン層の形成と破壊のメカニズムに関する研究により 1995 年ノーベル化学賞受賞)
- ・ P.N. タンドン博士 (インド国立科学アカデミー元会長)

(2) 目的

ア 国際問題について科学的側面から勧告や情報を政府・国際機関に提供

イ 世界的な学術協力を通じて、各国が直面する重要な課題解決に貢献するためのアカデミーの能力を育成